

“食べると笑うを 支える摂食嚥下の 専門家に学ぶ1日”

若林秀隆



横浜市立大学附属市民総合医療センター
リハビリテーション科講師
日本リハビリテーション栄養学会理事長

戸原玄



東京医科歯科大学大学院
医歯学総合研究所
高齢者歯科学分野准教授

河瀬聰朗



石巻市雄勝歯科診療所 所長
男の介護教室 代表
石巻圏摂食嚥下研究会 食べる輪 代表

日時 2018年4月22日(日) 13:00~18:00

会場 ビジョンセンター永田町 6Fビジョンホール 定員 120名

参加費 5,000円 早割 3月末までの申し込みで 4,000円 チケットの購入はこちら <http://ptix.at/QghDhG>



私たちグッドネイバーズカンパニーは、高齢化していく社会でも地域全体がより楽しく・豊かに幸齢化する未来のヒントを探るべく「いいご近所づくり会議」を2014年にスタートしました。

今回の「いいご近所づくり大会議2018」は、在宅ケアにおける「食支援」をテーマに、摂食嚥下リハのフロントランナーから最新の知見・ユニークな実践を学ぶシンポジウムです。在宅医療・介護に関わる専門職の方、地域ケアをもっとおもしろくしたい・ケアの領域で新しいことに挑戦したい方など、多くの皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

PROGRAM

プログラム

演題
1

地域の“食べる”を支えるために
私たちにできること

スピーカー 戸原 玄

東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科 高齢者歯学分野 准教授
1997年東京医科歯科大学歯学部卒／歯科医師・歯学博士
専門は高齢者歯科。歯科における摂食嚥下リハビリテーション分野を
牽引。「摂食嚥下関連医療資源マップ」の作成など、多方面から食支援
に携わり、ケアの普及・社会化を進めてきた。
2018年度の診療改定でより重きを置かれる在宅食支援。改めて、食支
援とは何か。機能評価やリハビリに限らず、食生活を支える意義、食支援
がもたらす多職種・市民連携の可能性など、総論をお話しいただきます。

演題
3

「男の介護教室」の取り組みから
地域の食支援を考える

スピーカー 河瀬 聰一朗

石巻市雄勝歯科診療所 所長、男の介護教室代表
2003年松本歯科大学歯学部卒／歯科医師・歯学博士
専門は障がい児・者・有病者、高齢者の摂食嚥下障害治療。東日本大
震災後の災害歯科支援を機に、無歯科医地区となった石巻市雄勝町の
歯科医療再生に携わる。現在は男性介護者支援を目的とした「男の介
護教室」や、石巻市の医療連携ネットワーク構築など、地域ケアの基盤づ
くりを先駆けて実践。これから地域ケアの形を各地へ発信している。
今回は、地域ケア最前線の取り組み「男の介護教室」の話を中心に、実
践やその背景について詳しくお話しいただきます。

話題
提供

社会参加の处方箋。全国に広がる
「くちビルディング選手権」

スピーカー 清水 愛子

一般社団法人グッドネイバーズカンパニー代表理事
2003年 慶應義塾大学環境情報学部卒／政策・メディア修士
NOKIAインサイト＆イノベーションチームを経て、2008年より博報堂イノ
ベーションラボに参画。デザイン思考を基軸としたイノベーションコンサル
ティング業務を通じて、高齢化地域のヘルスケア課題に関心を持ち
2013年に独立。高齢化地域の医療・介護・福祉における創造的な課題
解決を目指し、グッドネイバーズカンパニーを設立。

演題
2

地域高齢者の活動を支える
リハ栄養と実践

スピーカー 若林 秀隆

横浜市立大学附属市民総合医療センターリハビリテーション科講師
1995年横浜市立大学医学部卒／医師・医学博士
リハビリテーション科専門医。リハ栄養の第一人者として、数多くの研究
報告書を執筆。サルコペニア、フレイルの予防・早期発見・悪循環の防止
を、高齢期の健康維持の重要な課題とし、特に活動・栄養・疾患に起因する
二次性サルコペニアに攻めのリハ栄養を提言している。
医師・リハ職に限らず、高齢者の生活をみる多職種が現場で使える、リハ
栄養の理論と実践について、ご講演いただきます。

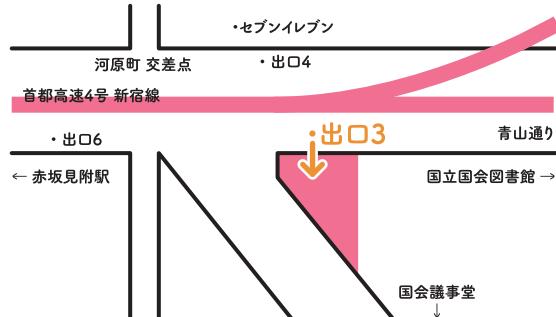
ACCESS

会場アクセス

ビジョンセンター永田町
6Fビジョンホール

〒100-0014 東京都千代田区永田町1-11-28

合人社東京永田町ビル 6F



東京メトロ有楽町線・半蔵門線・南北線
永田町駅3番出口より徒歩0分



プログラム詳細は、Facebookイベントページにて随時更新します。

<https://goo.gl/oNMC2q>



くちの筋肉を鍛えて競う、笑える予防医療系スポーツ

「くちビルディング選手権」

くちビルディング選手権は、子どもからお年寄りまでの多世代が混ざり合ってチームで戦う、摂食嚥下機能のトレーニングプログラムです。普段は意識しない“食べる力”について、あそびを通して楽しく自然と学ぶことができます。誰もが気軽に参加できる新しい形の予防医療・保健活動として、医療が持つ「する側／される側」という一方的な関係性や、地域の中にある世代間のギャップや、無関心を越えていきたいと考えています。

開催実績：全国23ヶ所・34回開催、述べ参加者数1500名以上
2017年度 グッドデザイン賞 受賞

くちビルディング選手権

検索



一般社団法人グッドネイバーズカンパニー <http://gnc.or.jp>

グッドネイバーズカンパニーは、これからの時代の「ケア」のカタチを探り、発信し、実行すべく、医療保健分野の専門職と、まちづくりやデザインの専門職が手を組んだデザイン集団です。体調を崩してから関わるというイメージが先行しやすい医療保健分野の課題を、楽しい雰囲気で、多世代で参加する「プレイフルケア」へと転換し、健康なうちから関わりとなる医療のあり方を提案しています。

Supported by
日本財団
THE NIPPON FOUNDATION